

松山聖陵高校生としてめざす人間像

校訓

礼儀 あいさつができる
信義 約束を守り義務を果たす

教育目標

責任感が強く教養の高い
誠実で穏健な人材の育成

「自立」「自律」 目標設定から目標達成へ

- ① 規律ある生活習慣の確立
- ② 学力の向上と体力、気力の充実
- ③ 豊かで美しい情操の陶冶

生き方 在り方指導（知・徳・体の具体化）

知 教科指導

1 学び直し教育の実践

- (1) 各個人の到達度に応じて複数教員による指導をする
- (2) 学力向上により希望する就職への道を拓く
- (3) わかる喜びを実感させて学習意欲を喚起させる
- (4) 理解することにより自信をつけさせ、更なる可能性を広げる

2 生徒の興味、関心を呼び起こす授業の工夫

3 社会に適応する知識、技能の養成

4 進路希望に即した学力の向上

徳 生活指導

1 基本的な生活習慣の確立

- (1) 遅刻・欠席の防止
- (2) 服装・頭髪規定の遵守
- (3) あいさつの励行

2 公共心の養成

- (1) 法令・校則の遵守
- (2) 公共心・道徳心の育成
- (3) 礼儀・マナーの向上

体 スポーツ活動の活性化

1 心・技・体のバランスを大切にし、豊かな人間性の育成を目指す

- (1) スポーツコースを中心にスポーツを通じて学校を活性化させる
- (2) 部活動を通して、助け合い、思いやりの精神を身につける
- (3) 積極性がありリーダーシップがとれる人材を育てる
- (4) 保健体育についての深い知識や高度な技術の習得を目指す

愛校心の涵養

校歌を自信を持って元気よく歌うことにより、松山聖陵高校生としての帰属意識を育てる。

- 生徒一人ひとりに対する、受容的できめ細かな指導。
- 一貫性・継続性・徹底性のある指導。

学校教育法51条の高等学校における教育目標に応じた教育活動。

- 一般的な教養を高め、専門的な技能を習熟させ、個性に応じた進路を決定させる。

進路指導

能力・適性に応じた進路を自ら考え、その実現に向けて努力する姿勢を育成するため、全教職員が一致協力し組織的、計画的に指導する。

1 年生 生活・学習指導を中心に生徒の自己理解を図る。

2 年生 希望進路を定め自己実現に向けた意識を高める。

3 年生 自己実現と高校生活の集大成を図る。

インターンシップを活用して、職業に関する意識を高める。

○ 進路ガイダンス・ホームルーム活動・総合的な学習の時間を通して、進路意識の高揚を図る。

○ 実力テスト・模擬試験等を利用して学力の把握・向上を図る。

○ 各学年に応じた堅実な人生設計と職業観の育成を図る。

教師の姿勢

- 1 「見逃さない！」 全教職員の共通理解のもと「基本的なこと」や「当たり前のこと」がきちんできようように根気強く指導する。
- 2 「意欲を育てる！」 生徒一人ひとりをよく理解し、激励し、助言することを通して生徒の意欲を喚起する。
- 3 「授業を真剣に！」 授業を大切にする習慣を育てることを通して、「学習の一元化」を図る。
- 4 「けじめをつけさせる！」 ルール無視や身勝手な言動には、厳しい姿勢で対処し「節度ある生活態度」の育成を図る。
- 5 「担任への連絡を！」 あらゆる指導事項をホームルーム担任へ連絡し、担任は生徒一人一人の状況を正確に把握する。

教職員の指導目標

- 1 「自律」して「自立」できる生徒を育成
- 2 常に改革・改善に意欲を持って取り組む姿勢
- 3 生徒指導の充実・強化（全ての教育活動の基礎となることを踏まえた指導）
- 4 学習指導の改善と充実（楽しい授業、分かる授業の展開）
- 5 進路指導の充実（きめ細かくミスマッチをおこさない指導）
- 6 ホームルーム活動の充実（道徳教育を重視し、礼儀正しい生徒の育成）
- 7 部活動の活性化（限界への挑戦）
- 8 環境教育の充実（環境・美化に敏感な生徒の育成）
- 9 積極的な学校評価（目標設定と学校改善）
- 10 常に規範意識を持って行動できる生徒の育成

学校・家庭・地域との連携

1 学校行事

- (1) 家庭や地域社会での生活体験
- (2) 自然との触れあいを図る
- (3) 地元産業・文化の理解

3 社会人活用事業

- (1) 地域社会の産業・文化理解
- (2) 地域に役立つ人間の育成

2 ボランティア活動

- (1) 地域の清掃美化
- (2) おもいやりの心の育成

4 学習活動

- (1) 地域との交流
- (2) 郷土を愛する心の育成